

【評価実施概要】

事業所番号	175300334		
法人名	有限会社ライジング		
事業所名	グループホームいこい		
所在地	093 - 0044 網走市天都山54番75 (電話) 0152 - 61 - 2301		
評価機関名	特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット		
所在地	060 - 0061札幌市中央区南1条西5丁目7 愛生館ビル601 B		
訪問調査日	平成19年11月7日	評価確定日	平成19年12月18日

【情報提供票より】(平成19年10月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16年 4月 26日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数	計18 人
職員数	15 人	常勤	15人, 非常勤 0人, 常勤換算 15人

(2) 建物概要

	0152 - 61 - 2301		
建物構造	木造り		
	1階建ての ~ 全階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	24,000円	その他の経費(月額)	0 円
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	250円	昼食 350円
	夕食	450円	おやつ 0円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要 ( 10月 1日現在 )

利用者人数	18名	男性	3名	女性	15名	
要介護1	6人	要介護2	4人			
要介護3	4人	要介護4	4人			
要介護5	0人	要支援2	0人			
年齢	平均	83.8歳	最低	62歳	最高	98歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	網走中央病院、北原歯科医院、網走地域訪問看護センター、
---------	-----------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

網走市都心南部の天都山中腹に位置した風光明媚な場所において、平屋建て2ユニットの構成。採光、温暖、換気に配慮がよく、居室、居間、共用空間、廊下、トイレ、浴室の配置に無理なく、介護にとって合理的・効率的な作りとなっている。外庭の芝生、畑など程よい広さがあり、寛げる環境となっている。平屋の条件を巧みに活用する工夫があり、観葉植物の鉢などで共用空間を上手に区分けして、お年寄りが静かに寛げる場づくりやユニット間交流・諸行事等変化のある活用の場としている。職員は物静かで、笑顔が多く、利用者・家族への対応は丁寧なケアに徹している。また、ホームで犬を飼っており、介護に大きな役割を果たしている。多様な工夫を今後も期待したい。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 服薬支援についての学習を進め、薬品管理の手法に検討を加え、誤りの無いような対応体制を整えている。睡眠剤、座薬の用法も極力減らすよう検討して効果を上げている。また、転倒事故への配慮も見守りに留意した結果が出ている。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価の手続きは日頃の介護の過程であることを認識して、全員が成果の過程を踏まえた検討を行い、積極的な自己評価にあたっている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 第1回目、運営理念、行事、職員体制と業務内容、利用者の負担とサービス。第2回目、事故、認知症とホームの状況、行事報告、第3回目、いこいの運営理念方針、契約と説明、ホームの生活と介護度、改善事例と家族やお店の協力。など会議の趣旨を活かして、日中での生活に場を見学してもらいながらの会議など、活発な会議としている。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 運営推進会議の開催が三度を重ね、その都度、運営内容について事故をはじめホームの課題を提示して問題点を協議の対象にしている。家族会の出席も多く、運営に関する意見の聴取に努めている。家族への毎月の知らせも個別で家族への情報が身近で理解しやすい積極的な工夫が見られる。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 家族会が結成されていて、会議の出席者が多く、優れた情報交換の場であるとともに、共に介護しようとの条件を作っている。毎月の個別的なニュースの発行、家族来訪者も多く、その対応がよい介護の条件となっている。運営推進会議も3回目を終え、近隣との協力を強化する基盤を作りつつある。行政・包括支援センターなどの協力関係もさらに深めつつある。

# 評価結果(詳細)

NPO法人 福祉サービス評価機構 Kネット

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	その人らしく生きる尊厳の尊重、力を引き出し生きがいを支え、個別的対応と自立を支えるとの理念の下に、長期・短期の支援指針を壁に掲げるなど、独自で具体的な理念を実行する姿勢を保って介護にあたっている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念カードを首にかけて業務に望むなど、日常の業務の基本姿勢を確かめ合いながら利用者個々への対応に励んでいる。例として、今年目標は利用者の気を遣わせない(「すみません」という言葉を使わせないなど)介護をしよう。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	H18年に町内会に入会。ホームの行事予定も町内会に配るなど、近隣との相互交流で地元の支えと楽しみを得ている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者・職員ともに日常的な業務が自己評価の結果であることを理解しながら、相互の関係を結びつけて、利用者個々の介護全体の改善に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>3回の運営推進会議は議題を運営理念、職員体制、行事と利用者への配慮、事故、認知症の実態と学習、契約と説明などホームの基本的な姿勢を確かに認識しようとの意欲のみられる会議がおこなわれている。その結果が運営に活かされている。</p>		<p>今後も計画的な会議の開催をホームの実情を見てもらいながら進めるなど、工夫を凝らしていることに期待したい。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>開設当初から行政の方針、運営のあり方を協議しながら質の高い経営を目指した連携が進められている。</p>		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族会が結成されて、会への会員の参加度も高く、利用者の日常生活の心身の状況は毎月の連絡たよりに個別と全体の動きを色写真にして送っている。職員や行事の動き、金銭管理も確かに知らされている。</p>		<p>職員の異動についても、積極的に理解を得るよう報告をするように考えているので期待したい。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族会のまとまりがよく、その要望、意見を積極的に聞き、応える努力をしている。家族来訪時にも職員は家族への状況対応を最も大切にしている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>新たな職員が入るときは、本格的な業務に入る数日前から顔なじみの関係を作るなど工夫を重ねた対応をしている。職員の定着には丁寧な管理者の留意が伺われる。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	グループホーム協議会が結成され、相互の研鑽の場として活用するとともに、職場での研修・外部研修にも計画的な研修の場を持つよう努めている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との相互訪問に機会ができ、2ヶ月に1回の割合で勉強会での実践的な事例検討によってサービスの質的向上を図っている。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入所の段階まではあせらず、せかせず、遊びに来て、見てもらい、家族ともども安心できる状況を作るホームでの生活を説明し、本人・家族の声をよく聞く努力をして、住まいの場として馴染めるよう信頼関係作りに工夫をしている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一緒に買い物に出かけ、料理を習うように台所とともに立ち、話ながら包丁を使い、楽しみながらともに食事が出来るように振舞っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>暮らしの思い出の写真、家具、小物、置物などの配慮が行き届いており、平屋の平面を上手に仕切りながら個々の生活を好みに応じた佇まいで居場所を持つ生活が見られる。職員もこの流れを大切に支えている。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>H16年開設時には眠剤などの薬剤利用者がほとんどであったが、ようやく職員の努力で自然な心身状態で生活ができるように改善してきた。介護計画とその介護処遇の高さがうかがわれる。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>センター方式のアセスメントを大切に、着実な記録と考察をしながら、3ヶ月毎の介護計画の変更に全職員がチームケアで望んでいる。家族との協議もよく整えられている。</p>		
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>平面構造の2ユニットを上手に活かしながらホーム内での行事を2ユニット合同で行うとか、家族ぐるみの行事に展開するなど、利用者にも週1回レク行事を楽しいものとしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医は利用者を熟知してくれた診療をしている。また、訪問看護ステーションとの契約のもとに適切な看護を得ている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>終末期のあり方については家族やかかりつけ医などと話し合いを始めた段階にある。重度化に対応するための準備を進め、聞き取りを始めている。</p>		<p>終末期の準備のため職員の共有化を含め検討を進めており、その成果に期待したい。</p>
<p><b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p> <p><b>1.その人らしい暮らしの支援</b></p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>短期目標の6 - 9月のテーマ「尊厳ある言葉を使おう」との目標に職員全員が取り組んでいて、利用者一人ひとりの対応から始めており、記録など情報管理も徹底している。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>個々の利用者の心身の状況本意の支援を心がけ、食事・入浴の対応など希望や状態に応じて支えている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者個々の状態や力量に応じて、職員とともに食事の準備から後片付けまで団欒のうちに食事を楽しむようにして、また個々の好みなどを選択出来るよう配慮している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	朝から午後3時ころまで、時間帯、長さ、回数など希望に応じた入浴体制をとっている。気乗りしない人へも気長な対応に心がけている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	週1回はレクリエーションの日、個々の好みや役割に応じた、多様な配慮のもとにそれぞれに応じた楽しみ方が出来るよう支援している。ホーム飼育の犬が利用者に可愛がられていて、利用者の支えとなっている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物は利用者とともに出かけていて、生活感を保つよう心がけている。他に、希望に応じながら、散歩やドライブなど外出の機会を考えている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間を除き施錠はしない。家族も利用者も自由に出入りできるようにしている。外出時は職員又は家族が必ず同伴している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年2回の消防訓練を職員全員で実施している。避難誘導、町内会や近隣の協力関係も保ちながら行っている。日常マニュアルの確認や救急法の学習も行っている。</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>利用者個々の摂取制限の把握、摂取状況、水分量にチェック、一日全体の(各食)カロリー量の計算も行っており、好みや心身の状況に応じたきめ細かな配慮が来ている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホームの採光、換気、気温等の管理、居室・廊下トイレ・浴室の配置もよく利用しやすく、かつ介護に便利に作られている。共用空間の壁面には利用者の作品が展示され生活意欲を守り立てる役割を果たしている。利用者がいたい場所で安心できるように施された工夫が多い。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>持ち込まれた家具、道具、写真や置物など親しみ部会配慮がなされて利用者の馴染みのある空間作りとなっている。</p>		

 は、重点項目。